

## グリーン電力証書を活用したNAGANO GREEN MICE

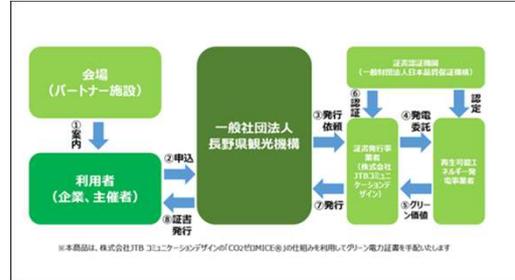
長野県 × 一般社団法人長野県観光機構、株式会社JTBコミュニケーションデザイン

### 取組概要

JTB コミュニケーションデザインは、地域の環境対策やSDGsの取り組みを加速するため、イベントや会議などで使用される電気エネルギーを、再生可能エネルギーと同等の電気とみなすことが可能なCO<sub>2</sub>ゼロMICE®のOEM供給を一般社団法人長野県観光機構へ提供し、長野県の脱炭素社会の実現に貢献。



ロゴは長野県の山と太陽をグリーンで表現

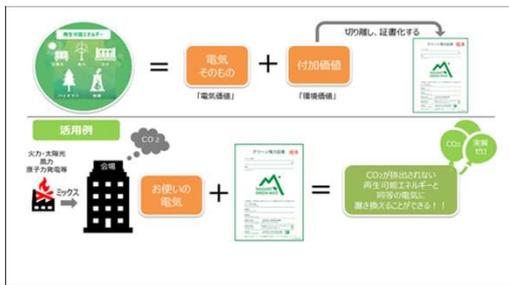


「NAGANO GREEN MICE」スキーム図

### 基本情報

代表地方公共団体	長野県
代表民間団体	一般社団法人長野県観光機構、株式会社JTBコミュニケーションデザイン
他の連携団体等	ホテルメトロポリタン長野、ロイヤルホテル長野、白樺リゾート池の平ホテル、ホテル国際21、信州大学、ANAホリデイ・インリゾート信濃大町くろよん、アルピコプラザホテルなど15施設 (9/1現在)
カテゴリ	ゼロカーボン/エネルギー対策/地域振興・交流
事業費	
めざすSDGsゴール	
事業化までの期間	2021年12月～2022年7月

### 取組内容



再生可能エネルギー化の仕組み



申込みからMICE開催までのフロー

この取組で解決した課題	2023年のG7外相会合は長野県軽井沢で開催されるなど、MICE※の開催地としての長野県は、自然豊かな環境を強みとして一定の高い評価をいただいています。しかしMICEは一般的に、多くの人やモノが移動するため、環境へマイナスの影響を与えることは避けられません。自然豊かな環境を強みとしたMICE開催地だからこそ、その自然環境をより大切にしようというメッセージ発信と、MICEを主催する企業や団体の、ゼロカーボン、カーボンニュートラルの目標の達成に向けての支援が課題でした。また、長野観光機構として、持続可能な経営をするためにも有力な自主事業が必要でした。 ※MICE：会議 (Meeting)、報奨・研修旅行 (Incentive Travel)、国際会議 (Convention)、イベント (Exhibition/Event) の頭文字を使ったビジネスイベントの総称。
解決に向けた手法	JTBコミュニケーションデザインが保有する、イベントや会議などで使用される電気エネルギーを、再生可能エネルギーと同等の電気とみなすことが可能なCO <sub>2</sub> ゼロMICE®のOEM供給を長野県観光機構へ提供。これにより、長野県内で開催されるMICEについては、グリーン電力証書システム等を活用し、使用される電気をCO <sub>2</sub> が排出されない再生可能エネルギーと同等の電気とみなす取り組みとして「NAGANO GREEN MICE」事業を展開。スキームはJTBコミュニケーションデザインにて確立しているため、すぐに取り組める施策となった。

## 取組詳細

事業推進上の各団体の役割分担	JTBコミュニケーションデザインは、CO <sub>2</sub> ゼロMICE®の仕組みを利用して、長野県観光機構へグリーン電力証書を手配。 長野県観光機構は、JTBコミュニケーションデザインが発行したグリーン電力証書を、「NAGANO GREEN MICE」のグリーン電力証書デザインに変更してサービス利用者に提出。
地域関係者との連携方法	長野県と長野県観光機構は、長野県が推進する観光地域づくり・長期滞在型観光の推進のために連携しており、長野県観光機構は、県が推進する特色ある観光テーマを活かした地域魅力向上の実践を支援することが目的。今回のNAGANO GREEN MICE事業において長野県観光推進機構は、長野県内のMICE会場となるホテル・旅館施設などへ、環境負荷削減に対する具体的な取り組みである「NAGANO GREEN MICE」の仕組みを説明。サービス導入施設に対しては、豊かな自然環境をより大切にしているMICE開催地としてブランディングを構築。
資金調達方法	資金調達なし
資金調達方法の補足	初期費用や契約料なし
事業推進上の課題・工夫	MICEを主催する企業・団体が利用しやすいように、「NAGANO GREEN MICE」のグリーン電力証書は、想定電気使用量の算出、再生可能エネルギーの調達、事後検証などを含めてパッケージ化。 長野県観光機構は、独自事業名称「NAGANO GREEN MICE」としてブランディングの構築と、オリジナルのグリーン電力証書の作成により、地域に密着した独自の取り組みとしてアピールができる。

## 担当者のコメント

佐藤氏：観光振興を推進する立場として、行政から言われた事業だけをやるのではなく、自主事業をきちんとやっていくべきだという課題を強く持っていた事が大きいです。システムは全てJCDさんからご提供いただけて、初期投資がほとんどなく、参画いただく施設にとっても大きな利点です。ゼロカーボンに向けた具体的な取り組みでありながら、開始するハードルが極めて低かったことが即決しました。

岩本氏：2023年のG7外相会合が軽井沢で開催されることが決定しており、長野県はかねてよりMICEの開催地として一定の高い評価をいただけてきました。このような取り組みが幅広く認知されることで、MICE開催地としての長野のブランド認知がさらに高まると考えております。

井上：長野県観光機構様と二人三脚でこの目標を成し遂げそして、先進事例としてブランド認知がより一層高まり、多くのMICEが誘致・開催され、多くの人々に訪れていただけることを願っています。

大橋：特に都心の企業から考えてもゼロカーボン達成には地域連携が不可欠と考えております。このモデルの成功事例を多く達成できたらと願っております。



長野県観光機構側の佐藤氏と岩本氏、JCD側の井上と大橋

## 優良事例応募項目

取組のポイント（3つの視点）	<p>①地方創生SDGsの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>MICEを主催する企業や団体の、ゼロカーボン、カーボンニュートラルの目標の達成に向けての支援。</li> </ul> <p>②ステークホルダーとの連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>MICE開催地としての長野県は、自然豊かな環境を強みとして一定の高い評価を得ているので、この高い評価を継続する意味でも、長野県のステークホルダーとの連携強化は必須。</li> <li>MICE開催においては関係する事業者が多く経済的貢献も高いことから、開催地と誘致する強いブランディング構築のため、連携を通じて関係強化。</li> </ul> <p>③モデル性・波及性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>長野県の事例「NAGANO GREEN MICE」は、他の地域でも可能。この事例をモデルとし、全国各地でCO<sub>2</sub>ゼロMICE®のOEMスキームを活用した「観光×ゼロカーボン」の取り組みを支援できる。</li> </ul>
----------------	--